3 適用雑草と使用方法

有効成分：ジメテナミドP…6.7%　ペンディメタリン…6.5%　リニュロン…11.4%　除草剤分類　15,3,5

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
				薬量	希釈水量			
だいず えだまめ	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	全土壌 (砂土を除く)	400～ 600mℓ /10a	70～ 150ℓ /10a	1回	全面 土壌散布	全域

ジメテナミド及びジメテナミドPを含む農薬の総使用回数	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数	リニュロンを含む農薬の総使用回数
1回	1回	2回以内(全面土壌散布は1回以内、雑草茎葉兼土壌散布は1回以内)

上手な使い方

効果に関する注意

耕起・整地	砕土が十分でなく、大きな土塊や極端に粗雑に整地された畑では均一な薬剤の処理層ができず、雑草が発生しやすくなります。土塊はなるべく細かく砕いてください。

薬害に関する注意

マルチ栽培	本剤はマルチ栽培では薬害を生じる恐れがあるので、マルチ栽培での使用はさけてください。
浅播き	播種深度が浅いと薬剤が作物に接触する恐れがあるので、覆土深は2～3cm以上にしてください。
土壌水分(過湿条件)	排水不良畑は湿害が生じやすく、薬剤の影響を受けやすいので注意してください。
処理後の多量の降雨	処理後まもない多量の降雨では、有効成分が下方に移動し、作物の根部や幼芽部に接触しやすくなるので、処理直後に多量の降雨が予測される場合は使用をさけてください。
土質・土性	砂壌土など砂質がかった畑では土壌の薬剤吸着性が弱くなり、薬剤の影響を受けやすいので注意してください。また砂土では使用をさけてください。
ドリフト	本剤は水稲、小麦、キャベツ、キュウリ、トマトなどに薬害を生じさせるので、周辺に他作物が栽培されている場合はドリフトに注意してください。

4 高い安全性

プロールプラス乳剤は作物に対する安全性が高く、
登録上の使用方法ではだいず・えだまめに薬害を認めていません。

薬害が確認されなかった品種

作物名	品　種
だいず・えだまめ	あきみやび、あやこがね、あやみどり、エンレイ、おおすず、きぬさやか、サチユタカ、里のほほえみ、シュウレイ、スズカリ、すずほのか、すずほまれ、タチナガハ、タンレイ、トヨムスメ、ナカセンナリ、のんたぐろ、フクユタカ、ミヤギシロメ、ユキホマレ

5 使用上の注意事項

⚠ 薬効・薬害に関する注意

(1)使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
(2)雑草の生育が進むと効果が劣るので、必ず時期を失しないように散布してください。
(3)砕土、整地はていねいに行い、種子が露出しないように覆土はできるだけていねいに行い、覆土深を2～3cm以上としてください。
(4)散布直後の多量の降雨は薬害のおそれがあるので、天候を見きわめてから散布してください。
(5)本剤はマルチ栽培では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
(6)蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
(7)散布に当たっては、他作物に飛散しないよう十分注意して使用してください。特に風の強い時の使用はさけてください。
(8)本剤は自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
(9)散布に使った器具類は良く水洗いして、他の用途に使用する時は影響のないように注意してください。
(10)本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

⚠ 安全使用上の注意

(1)誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
(2)原液は眼に対して刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
(3)原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
(4)散布の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
(5)作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
カブレ (6)かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
(7)夏期高温時の使用はさけてください。

魚毒性：使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
保　管：火気をさけ、食品と区別して、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。
●使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

BASFジャパン株式会社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
0120-014-660　https://crop-protection.basf.co.jp/

4128100　5
202012

技術資料
Ver.6
農林水産省登録
第23441号

だいず畑に ジメテナミドP ペンディメタリン リニュロン
鉄壁の3ディフェンス

だいず・えだまめ用土壌処理除草剤
プロールプラス® 乳剤
®=BASF社の登録商標

大豆畑の「雑草管理」を
発信する情報サイト
Soy Channel

BASF
We create chemistry

プロールプラス®乳剤は3種類の除草成分で イネ科雑草にも広葉雑草にもしっかり効く!

ジニトロアニリン系除草剤の ペンディメタリン

●雑草の生長点を阻害します。
●土壌中に安定した処理層を作ります。
●広範囲のイネ科雑草、広葉雑草に高い活性を示します。

イネ科雑草　広葉雑草

尿素系除草剤の リニュロン

●雑草の光合成を阻害します。
●土壌表層に安定した処理層を作ります。
●広葉雑草に卓効を示します。

広葉雑草

酸アミド系除草剤の ジメテナミドP

●雑草の蛋白合成を阻害します。
●長く雑草を抑えます。
●イネ科雑草、カヤツリグサ科等に高い効果を示します。

イネ科雑草　広葉雑草

効き方の違う除草成分の働きで、幅広い雑草を抑えることができます。

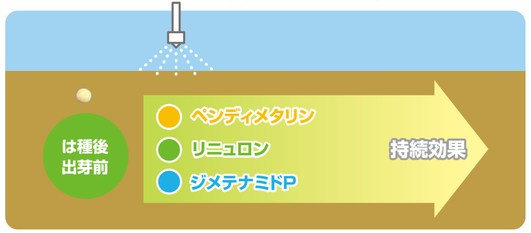
1 特　長

幅広い雑草を1剤で抑える

3種類の異なる作用性の除草成分により、
広範囲の雑草(イネ科・広葉雑草全般)に安定した除草効果を示します。

優れた持続効果

土壌処理により、長期間にわたり効果が持続します。



だいず・えだまめの問題雑草対策に

イヌホオズキやホソアオゲイトウに対して高い効果を発揮します。

マルバルコウやアレチウリに対して抑草効果を示します。

殺草スペクトラム

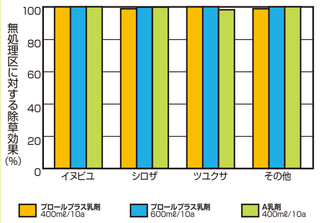
◎:極大　○:大　△:中　×:なし

イネ科雑草						広葉雑草																
イヌビエ	メヒシバ	オヒシバ	エノコログサ	スズメノカタビラ	アゼガヤ	イヌホオズキ	ノボロギク	タカサブロウ	アメリカセンダングサ	ハキダメギク	スベリヒユ	ホソアオゲイトウ	アオゲイトウ	シロザ	イヌビユ	タデ類	タニソバ	スカシタゴボウ	ナズナ	コハコベ	カヤツリグサ	ツユクサ
◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○

2 だいずでの除草効果

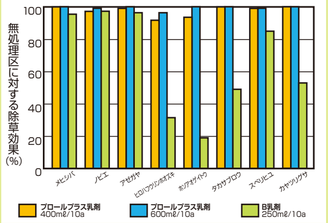
主要雑草を幅広く抑えます

平成24年　岩手大学滝沢農場(岩手県岩手郡滝沢村)



【試験概要】
品種:スズカリ　は種日:5月31日
処理日:5月31日(雑草発生前)　調査日:7月2日(処理32日後)

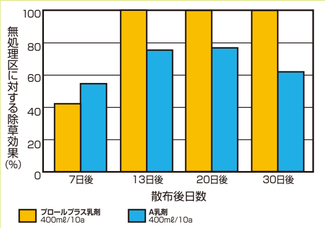
平成23年　植調　福岡試験地(福岡県久留米市)



【試験概要】
品種:フクユタカ　耕起日:8月5日
処理日:8月5日(雑草発生前)　調査日:9月22日(処理48日後)

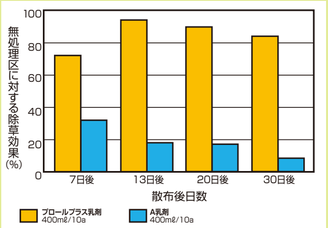
難防除雑草にも効果を発揮します

■アレチウリに対する効果　平成25年　BASFジャパン(株)田原研究所



【試験概要】
雑草は種日:7月24日　処理日:7月25日(雑草発生前)

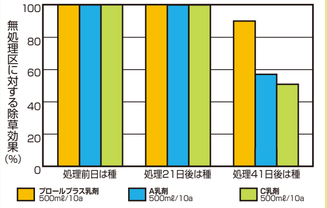
■マルバルコウに対する効果　平成25年　BASFジャパン(株)田原研究所



【試験概要】
雑草は種日:7月24日　処理日:7月25日(雑草発生前)

長期にわたって安定した除草効果を維持します

■シロザに対する効果　平成25年　BASFジャパン(株)田原研究所



【試験概要】
薬剤処理日:8月7日
雑草は種日:8月6日(処理前日)→調査日:8月20日(は種14日後)
雑草は種日:8月28日(処理21日後)→調査日:9月11日(は種14日後)
雑草は種日:9月17日(処理41日後)→調査日:9月26日(は種9日後)